

2023 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

令和5年11月23日、上野恩賜公園不忍池周辺（東京都台東区）において、「2023 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、多数の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわるさまざまな仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会的役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に日本獣医師会が公益事業として開催している。第17回目を迎える本年も、動物愛護管理法の規定に基づき、環境省が東京都、台東区及び関係団体等と開催する動物愛護週間中央行事（屋外行事）と同日、同会場で合同開催された。関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、獣医系大学や地方獣医師会をはじめ関連団体の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学の学生、動物看護学生、動物飼育者等をはじめ、約7,000名の一般市民に来場いただいた。

開会式では、はじめに動物愛護週間中央行事の主催者である動物愛護週間中央行事実行委員会を代表して、東京都保健医療局健康安全部の藤井麻里子部長から挨拶が行われた。

続いて、動物感謝デーの主催者として本会藏内勇夫会長から、以下の挨拶がなされた。

「公益社団法人 日本獣医師会の会長を務めております藏内勇夫でございます。本日は、2023 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”に多くの方々にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。また、多くの企業・団体の皆様方にご協力をいただいたイベントでございまして、この場をお借りし心から感謝申し上げる次第でございます。

本日は、大変お忙しい中、自由民主党から自由民主党獣医師問題議員連盟 会長代行、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟顧問 森 英介衆議院議員、ペット関連産業・人材育成議員連盟会長 片山さつき参議院議員、公明党から公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事 河西宏一衆議院議員をはじめ、多数のご来賓の方々にご出席をいただきました。日頃よりわれわれ日本獣医師会及び動物の共生社会づくりにご支援いただいている皆様で

ございまして、重ねて心から感謝を申し上げる次第でございます。ありがとうございます。

この「動物感謝デー」は、世界獣医師会が提唱する「世界獣医師の日」活動の一環として、われわれ獣医師が取り組みます諸々の活動等を幅広く国民の皆様にご理解をいただきたい、そしてわれわれが目指す、人と動物が共生する社会づくりにつなげていきたい、こういうイベントでございます。毎年、日本獣医師会が主催で開催しております。

昨年から、国の催しでございます動物愛護週間中央行事と合同開催となり、より大きなイベントになりました。大変嬉しく思っているところでございます。

このたび世界中にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、動物由来の人と動物に共通する感染症でありまして、その対策には人と動物の健康と環境の保全を一体的に捉える、一つの命である「ワンヘルス」という概念に基づき、各分野の専門家や関係者が連携・協力して取り組むことが不可欠であるといわれています。

「動物感謝デー」のテーマは、このワンヘルスの理念を踏まえ、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」としています。

ご来場の皆様におかれても会場内ステージでの催しやブースの展示などを通して、「ワンヘルス」の取組みに中心的な役割を果たしておりますわれわれ獣医師の使命・役割と活動について理解を深めていただければ大変ありがたいと思っております。

最後に、開催に際して多大なご支援とご協力をいただきました協賛企業、関係省庁、関係団体、教育機関はじめ関係者の皆様に改めましてお礼を申し上げまして挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。」

続いて、来賓として、森 英介自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行・自由民主党ワンヘルス推進議員連盟顧問・衆議院議員、河西宏一公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事・衆議院議員からご挨拶をいただき、片山さつき自由民主党ペット関連産業・人材育成議員連盟会長・参議院議員からお祝いの言葉をいただいた。

その後、熊谷法夫農林水産省大臣官房兼消費・安全局兼輸出国際局審議官、立田理一郎環境省自然環境局総務課動物愛護管理室長、横田栄一厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課感染症情報管理室長、前間 聡内閣府食品安全委員会事務局評価第二課長、特別協賛社等の来賓の紹介、祝電披露が行われた後、日本

全薬工業株式会社及びベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社から本会に200万円が贈呈されたセーブペットプロジェクト寄付金授与式が行われ、砂原副会長から開会が宣言された。

引き続き、ステージでは本会及び獣医コミュニケーション研究会(農場どないすんねん研究会 (NDK))による「知っていますか? 獣医師の仕事」として、NOSAI、公務員獣医師の紹介のほか、動物検疫所による動植物検疫探知犬のデモンストレーションが行われた。そのほか、農林水産省の協力による「ヒーローショー」、東京都獣医師会の協力による「海外の獣医療について」として、ドイツの獣医師をお招きし、日本とドイツにおける動物福祉の違いについて紹介が行われ、さらに動物愛護週間中央行事としてのプログラムが開催された。

展示・体験コーナーでは、本会は、獣医学生協会、SJD ドッググルーミングスクール及びNPO 法人ジャパン ドッグサポートセンターの協力を得て「一日獣医師体験コーナー」を実施した。参加した子どもたちは獣医学生の指導を受けながら、聴診・触診・視診等の身体検査を体験し、瞳を輝かせていた。

そのほか、日本中央競馬会と公益財団法人 馬事文化財団・馬の博物館、公益社団法人 日本装蹄協会による「馬とのふれあい写真撮影」、公益社団法人 中央畜産会・馬事畜産振興協議会による「蹄鉄輪投げ」、獣医学生協会による直腸検査や聴診を体験できるブースには、多数の来場者が訪れた。

全てのプログラムの最後に、メインステージで行われた閉会式では、宇佐美 晃動物感謝デー企画検討委員会委員長・公益社団法人 日本獣医師会関東地区理事と田畑直樹動物愛護週間中央行事実行委員会委員長・公益財団法人 日本動物愛護協会理事長から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了したことへのお礼が述べられた。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援、協賛、協力をいただいた省庁、自治体、企業、団体を改めて紹介し、本年の開催への温かいご支援、全国55地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出席、協賛等へのご協力、さらに日本獣医学生協会、地元動物看護系専門学校の多数のボランティアスタッフによる事業運営支援に対して心からお礼申し上げたい。

2023 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

【後援】

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、内閣府食品安全委員会、東京都、台東区、公益社団法人 日本獣医学会、公益社団法人 日本動物病院協会、

一般財団法人 動物看護師統一認定機構、一般社団法人 日本動物看護職協会、World Veterinary Association、ヒトと動物の関係学会、AIPO (動物ID普及推進会議)

【特別協賛】

共立製薬株式会社、日本全薬工業株式会社、学校法人 ヤマザキ学園、ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社

【協賛・協力】

イオンペット株式会社、千寿製薬株式会社、株式会社 アグリリス、アニコム損害保険株式会社、森久保 CA メディカル株式会社、株式会社安田システムサービス、ユニ・チャーム株式会社、ライオンペット株式会社、農林水産省消費・安全局、農林水産省動物検疫所羽田空港支所、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室、東京都、台東区、日本中央競馬会、公益財団法人 日本動物愛護協会、公益財団法人 東京動物園協会、公益財団法人 馬事文化財団 (馬の博物館)、公益社団法人 日本愛玩動物協会、公益社団法人 日本装蹄協会、公益社団法人 日本動物園水族館協会、公益社団法人 日本動物福祉協会、公益社団法人 日本動物用医薬品協会、公益社団法人 全国農業共済協会、公益社団法人 畜産技術協会、公益社団法人 日本動物病院協会、公益社団法人 中央畜産会、公益社団法人 Knots、一般財団法人 生物科学安全研究所、一般社団法人 ペットフード協会 (マースジャパンリミテッド/アイシア株式会社/ユニ・チャーム株式会社)、一般社団法人 全国ペット協会、一般社団法人 ジャパンケネルクラブ、一般社団法人 日本家畜人工授精師協会、一般社団法人 日本雑誌協会、一般社団法人 日本動物看護職協会、一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会、特定非営利活動法人 動物愛護社会推進協会、特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会、特定非営利活動法人 ジャパンドッグサポートセンター、JKC 公認指定校 SDJ ドッググルーミングスクール、狂犬病臨床研究会、獣医コミュニケーション研究会 (農場どないすんねん研究会 (NDK))、北海道大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、岐阜大学、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学、大阪公立大学、酪農学園大学、北里大学、日本大学、麻布大学、日本獣医生命科学大学、岡山理科大学、日本獣医学生協会 (JAVS)

【協力地方獣医師会】

公益社団法人 北海道獣医師会、公益社団法人 青森県獣医師会、一般社団法人 岩手県獣医師会、公益社団法人 宮城県獣医師会、公益社団法人 秋田県獣医師会、公

益社団法人 山形県獣医師会, 公益社団法人 福島県獣医師会, 公益社団法人 仙台市獣医師会, 公益社団法人 茨城県獣医師会, 公益社団法人 栃木県獣医師会, 公益社団法人 群馬県獣医師会, 公益社団法人 埼玉県獣医師会, 公益社団法人 千葉県獣医師会, 公益社団法人 神奈川県獣医師会, 公益社団法人 山梨県獣医師会, 公益社団法人 横浜市獣医師会, 公益社団法人 川崎市獣医師会, 公益社団法人 東京都獣医師会, 公益社団法人 新潟県獣医師会, 公益社団法人 富山県獣医師会, 公益社団法人 石川県獣医師会, 公益社団法人 福井県獣医師会, 一般社団法人 長野県獣医師会, 公益社団法人 岐阜県獣医師会, 公益社団法人 静岡県獣医師会, 公益社団法人 愛知県獣医師会, 公益社団法人 名古屋市獣医師会, 公益社団法人 三重県獣医師会, 公益社団法人 滋賀県獣医師会, 公益社団法人 京都府獣医師会, 公益社団法人 大

阪府獣医師会, 一般社団法人 兵庫県獣医師会, 公益社団法人 奈良県獣医師会, 公益社団法人 和歌山県獣医師会, 公益社団法人 京都市獣医師会, 公益社団法人 大阪市獣医師会, 公益社団法人 神戸市獣医師会, 公益社団法人 鳥取県獣医師会, 公益社団法人 島根県獣医師会, 公益社団法人 岡山県獣医師会, 公益社団法人 広島県獣医師会, 公益社団法人 山口県獣医師会, 公益社団法人 徳島県獣医師会, 公益社団法人 香川県獣医師会, 公益社団法人 愛媛県獣医師会, 公益社団法人 高知県獣医師会, 公益社団法人 福岡県獣医師会, 公益社団法人 佐賀県獣医師会, 公益社団法人 長崎県獣医師会, 一般社団法人 熊本県獣医師会, 公益社団法人 大分県獣医師会, 一般社団法人 宮崎県獣医師会, 公益社団法人 鹿児島県獣医師会, 公益社団法人 沖縄県獣医師会, 公益社団法人 北九州市獣医師会



藤井真里子 東京都保健医療局健康安全部長



藏内勇夫 会長



森 英介 衆議院議員



河西宏一 衆議院議員



片山さつき 参議院議員



セーブペットプロジェクト寄付金が贈呈された藏内会長



開会宣言をする砂原副会長



平井潤子 東京都獣医師会事務局長



ドイツから来日された獣医師の皆様（左から戸上由香梨獣医師, ユーデイス・ショーネンシュタイン獣医師, マーティン・ハートマン獣医師, トーマス・ブラハ獣医師）



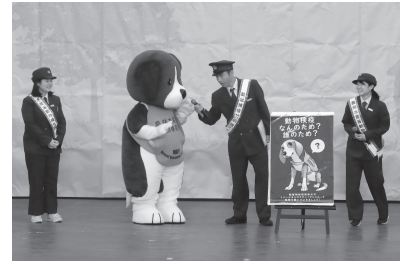
上野弘道 東京都獣医師会会長



農済の獣医師のお仕事紹介をする
ノーサイ君と東京都農業共済組合の
北村知也獣医師



公務員獣医師についてご説明する神
奈川県食肉衛生検査所の赤間倫子獣
医師



農林水産省動物検疫羽田空港支所に
よる獣医師の仕事紹介



検疫探知犬による
デモンストレーション



ミルクダンサーズによるうしうしサンパ



農林水産省によるヒーローショー



一日獣医師体験



馬とのふれあい写真撮影



会場の様子



閉会の挨拶をする宇佐美 晃
動物感謝デー企画検討委員会
委員長（関東地区理事）



閉会の挨拶をする動物愛護週間
中央行事実行委員会委員長の田畑
直樹日本動物愛護協会理事長



運営協力した日本獣医学生協会（JAVS）スタッフ